

平成25年度
2014年

学校だより

第39号

2月22日

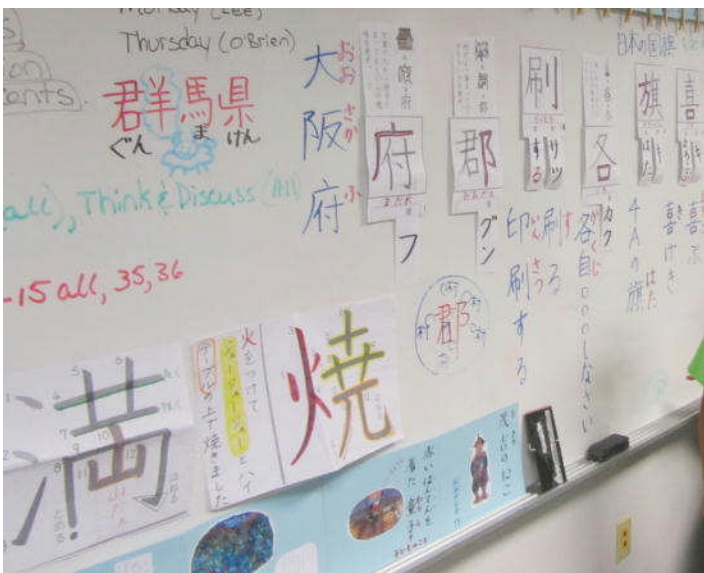
ヒューストン日本語補習校

第3回 漢字検定

2月8日に本校を会場に今年度3回目の漢字検定がおこなわれました。



6月2日第1回の受検者は83名、11月27日第2回の受検者は38名、そして今回の希望者はなんと141名(2級~10級)でした。在籍学年の漢字はその年度内に合格したいという積極的取り組みの表れだとうれしく思います。また、学年にこだわらず10級から確実に身に付けていこうという人も多く、漢字練習のよい目標になっているのだと思います。



漢字練習については、各学級で色々な方法を用い様々な指導をおこなっています。

日本語を使う人にとって、漢字は必要不可欠なもの

であり、正しい漢字や熟語を知っていないと、パソコンでの文章作成には苦勞します。手書きの場合には漢字力はそのまま表れます。「休暇届」を「体暇届」と書いたり「致します」を「倒します」と書いたりする社会人が本当にいるのだという話しも聞きます。

特に低学年児童はご家庭でも工夫され、まず「漢字が好きの子」に育ててほしいと思います。

第34回 海外子女文芸作品コンクール 入賞

今年は次の二人が入選しました。

作文 優秀賞 小5 樽谷 桜香

題名：上を向いて歩こう

俳句 優秀賞 小6 杉谷 胡桃

うら庭に かおりあふれる 夏みかん



6年 杉谷さん
おめでとうございます。

5年 樽谷さん

お知らせ

学校便りは、先週15日付38号より家庭数配布を停止しています。毎週HPをご覧ください。

なお、来年度(2014年4月~)は・前期学習参観学級懇談・個人面談、運動会、後期学習参観については学級便りで詳しい案内があるため、学校からの通知はHP掲載だけにする予定です。

なにとぞご理解いただきご承知くださいますよう、お願い致します。

先生方の投稿 ⑨

『シゲさん』 その3 小3B担任 佐藤暁子

「暁子さん、スピーチコンテストに出してくれないかなあ。」

「は、『青年の主張』ですか?」「やだなあ、違うよ。英語に決まってるでしょ。」あまりにも意外な先生の言葉でした。

「でも先生、私の英語の成績が悪いのは先生が一番良くご存知じゃないですか。なんで私なんかにもっと成績のいい人にやってもらった方がいいですよ。」「スピーチはね、英語の成績がいいかどうかはあまり関係ないんです。英語の発音がよくて、スピーチの内容がよければ優勝できる。」

今でもLとRがよく聞き分けられない私に、なぜシゲさんは白羽の矢を立てたのでしょうか。英語の発音だって、特に良いわけでもありません。それでも、自分の成績の悪さに対する引け目とシゲさんのおだてにまんまと乗せられて、私は英語のスピーチコンテストに出ることを承諾してしまいました。

内容は自分で考えて英訳したものを、担当(1年生の時のおじいさんの英語の先生)に直してもらい、違う高校で英語部だった姉をコーチにして家で練習しました。しかし、全文暗記するところまで練習する根性はなく、適当なところで切り上げてヘラヘラ過ごしているうちに、スピーチの日が来てしまいました。

他の高校から、5人くらいの生徒が出演していて、最初の人のスピーチを聴いたあと、私は自分のスピーチの練習をしようと思ひ部屋を出ました。近くの教室でブツブツ言っていると、シゲさんが泡を食って駆け込んできました。「ああ、ここにいたんだ、よかった。帰っちゃったかと思った。暁子さんの番ですよ。早く早く。」私は覚悟を決めてシゲさんのあとについて会場に入り、演壇に登って一礼しました。最初の二文は紙を見ずにスラスラ言えたのですが、チラッと紙を見たとき、スピーチのどの部分か話しているのかわからなくなってしまい、あとはしどろもどろ。つかえつつかえ紙を読み上げ、逃げるように部屋を出て先ほどの教室に戻りました。

◆パトロール当番予定表 3月1日◆

これは2・3月当番一覧表に記載された予定です。

変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小1	9	安西 鈴音
		2	堀江 夏大
		3	木村 玲音
		4	坂村 颯太
		5	田内 明
		6	花田 光翼
		7	藤井 義一
★PM1リーダー	小1	2	武智 諒剛
		2	田中 航太郎
		3	伊藤 美亜
		4	佐藤 愛
		5	謝 愛納
		6	仲田 侑希
		7	中西 彩季

毎晩2回じゃなくて、5回練習するべきだった、いやいや、そもそもこんな大役を引き受けるべきじゃなかった、シゲさんに恥をかかせて申し訳なかった…そんなことを悶々と考え続けていました。

しばらくして、シゲさんがやってきました。私は先生が何か言う前に急いで言いました。

「先生、全然うまく出来なくてごめんなさい。」

「終わりましたよ。ご苦労さん。いいんですよ。うちの学校でコンテストをやるのに、うちの学校から誰も出ないのはみっともないと思っていたのに、暁子さんが出てくれただけでも面目が立ちました。優勝したのは、帰国子女でアメリカから帰ってきた生徒でした。ボクはね、ああいうのはちょっとずるいと思うんです。だってうまくて当たり前でしょ。だから暁子さんにやってもらったんですよ。」

3年生になり、シゲさんは私の担任の先生になりました。先生の授業は相変わらず楽しくて気が抜けませんでしたが、私は相変わらず英語がよくわからないままでした。

そのまま大学に入り、友だちからは、「あんた、そんなに良く大学に受かったね。」とあきれられるほど、大学でもやっぱり英語が苦手でした。

英語へのコンプレックスを抱きながら、それでも英語がペラペラになりたいという気持ちもあり、私は社会人になってから英会話スクールに通い始めました。通ううちに自分の英語がだんだん相手に通じるようになり、そうすると不思議に英語の文法もコトンと頭に入ってきました。やがて、テネシーの補習校での教員の仕事を見つけたのをきっかけに私は渡米し、20年が経ちました。

昨年、スカイプで参加した高校の同窓会にシゲさんも出席されており、今アメリカにいる事を報告しました。「先生のおかげです」と言うと、昔と同じ笑顔で「よかったね。」と喜んでくださいました。私はやっとシゲさんのご恩に報うことができたと思ひました。

あのスピーチコンテストに出なかったら、あそこで恥をかかなかったら、アメリカに来ようと思わなかったかもしれません。劣等生の私をいつまでも見放さず、いつも励ましてくださったシゲさんに出会わなかったら、私は今でも英語が苦手なままだったかもしれません。シゲさんという先生に出会えて本当に良かった。こうして今、思いがけず教師の職を得た私は、シゲさんのような先生に少しでも近づきたいと思っています。

学籍

在籍数 (2月22日現在) 384名

幼40名 小250名 中66名 高28名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

(文責 : 校長 山岡 清孝)